

日本女子リーグ審判員セレクション

12月10日（金）～12日（日）の3日間にわたり日本ソフトボール協会主催の標記セレクションが天城ドームで開催された。リーグ審判員に名乗りを上げたのは、20代から50代までの第1種公認審判員50名（男性42名、女性8名）。そのうち選ばれるのは40名の予定となっている。全国各地から受験生が集結し、初日は講義と筆記試験が行われた。2日目から始まった実技試験では、準備運動のあと天城ドームと野球場に分かれ、球審と各塁審を実践で試された。今年のセレクションのリベンジで臨む受験生あり、地方ブロックで試験勉強を積み自信满满の人あり、初受験で緊張を隠せない人ありと受験生のバックグラウンドは様々だ。また今回は50名中21名が新人で、来季は大幅な若返りも予想される。

日本女子ソフトボール界最高峰のリーグ審判員には、求められるものも高くなるのは当然のことであろう。研鑽を積み経験を積むことで、日本と世界を代表する選手たちのプレーを、大きくバックアップしていただきたい。

